

十両も春日根、西旭が優勝

西旭が一敗を守り切って十両2場所目にして優勝を果たした。同部屋の新十両大石丸も9勝2敗の好成績で春日根部屋が存在感を見せた場所となった。

単独トップで迎えた十日目、「春日根部屋は全段での優勝の可能性もあるんじゃないの？」と錦風親方が言うように各段においても優勝争いを演じている春日根勢。十両でも西旭が八日目に逆馬山に不覚を取っただけで、ここまで隙のない取り口を見せてきた。

対戦相手となる超刃はこの相撲に勝ち越しを賭ける大事な一番。ここの一発、優勝争いを面白くする意味でも元関脇の意地を見せて欲しいところだったが、西旭があっさりと左差しから寄り切って優勝に王手をかけた。敗れた場合3敗勢の優勝の可能性も残されていたが、西旭が勝ったこととなった。



西旭○(寄り切り)●超刃

そして2敗同士の角武蔵と逆馬山が直接対決。勝った方が優勝争いに踏みとどまるとあって、どちらも負けられない一戦。角武蔵は幕内から降格してからは、十両でも徐々に番付を下げ今場所は負けが込めば幕下陥落のピンチかと危惧された。だが、そんな不安も覆し優勝争いに加わる元気な相撲を見せている。

対する逆馬山も唯一西旭に土をつけているこの一番に勝って優勝に望みをつなげたいところ。立ち上がるや、角武蔵の右攻めに逆馬山もそうはさせまいと互角の攻めをみせる両者。そこから更に土俵を回った向正面で土俵際一瞬の隙をついた角武蔵ののど輪がタイミングよく決まり、2敗対決は角武蔵に軍配が上がった。



角武蔵○(押し倒し)●逆馬山

そしてもう一人2敗で追いかける大石丸。八日目の角武蔵に敗れたのがもったいなかったが、ここは旅籠籠を難なく寄り切って2敗を守った。これで優勝は西旭、角武蔵、大石丸の3人に絞られた。

そして千秋楽、最初に1敗の西旭と角武蔵が土俵に上がる。西旭が勝った時点で優勝が決まるため、角武蔵も優勝するためにはこの一番は勝つしかない。西旭が敗れば当然ながら決定戦が待っている。

優勝がかかった大一番は、角武蔵にのど輪を入れさせることなく左を差して寄り切った西旭が制して、堂々の10勝1敗での優勝となった。

東筆頭の真田丸は十日目に玄武岩に敗れて負け越し、千秋楽には勝ったものの昇進はならず。「余裕でいけると思ったのにな」と無念さを表す友砂親方。序盤の好調さから一転、中日からの5連敗が響いたのが予想外の結果となった。結果としてしまった。

その代わりと言っては何だが、一門の駒波が幕内力士との入れ替え戦に連勝して7勝を上げ嬉しい新入幕を決めた。



駒波○(寄り切り)●桃乃洲

他に昇進が有力視されるのは、同じく7勝を上げた二枚目の蛭国、あとは西旭あたりになりそう。後半に怒涛の巻き返しを見せて勝ち越しまで漕ぎ付けた櫻吹雪は、またしても見送りとなってしまうのか、番付発表が待たれるところだ。

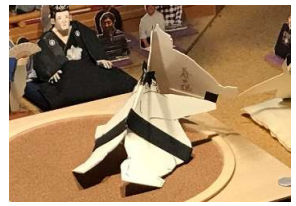
吉備の里が千秋楽に鶴ノ里に敗れて負け越し。やっと十両に定着してきたところだったが、またも幕下に戻ることに。太刀鳳と英風とともに幕下から再起を図ることになる。(勝間田)



角武蔵●(寄り切り)○西旭

幕下は椿富士、名門復活の狼煙

幕下は四日目で共全勝同士の対戦で、椿富士が寄り切りで玉乱を破って優勝を飾った。優勝を賭けた一番は立ち合いで攻め込んだ玉乱がのど輪を入れようとする寸前で、うま左を差し守り切った椿富士がそのまま寄り切って決着した。これにより椿富士は一場所での十両返り咲きを濃厚とした。



椿富士○(寄り切り)●玉乱

惜しくも優勝には届かなかった玉乱は来場所の活躍を見る限り問題はなさそうだ。

磯ノ海勢は一人茅ヶ崎が昇進を果たして面目を保った。しかし、磯燕と磯若3人揃っての関取復帰を期待していた磯ノ海親方の思惑は脆くも崩れ去ってしまった。

今日日の出の勢いを見せる錦風部屋の虹ヶ谷と逆本が4勝1敗の好成績を上げた。今場所十両で活躍を見せた逆起と逆馬山のようにこの二人も十両に昇進するのも間近だろう。錦風親方の弟子育成がようやく実を結んできたよう、更なる勢力拡大となっていく予感も。

秋田部屋の千曲海が松錦を下して勝ち越しを決めた。3人揃っての勝ち越しを決めたかったところだが、惜しくも難波山は剣竜に屈して幕下残留はならず。しかしながら、はるばる



千曲海○(寄り切り)●松錦



難波山●(寄り切り)○剣竜

弟子の応援に駆け付けた秋田親方は「千曲海と達子波の二人が勝ち越してくれたので出来です」と満足そうに国技館を後にした。(山里)

三段目、序の口

三段目は全勝で勝錦と竜雲が対戦し、桐壺部屋が寄り切りで優勝を飾った。切土部から3場所目、若手が多い桐壺部屋においても期待の力士だ。来場所は三段目上位となることからますますの活躍が期待される。

序二段では伊勢の里が森倉を下して優勝。先場所、序の口でも優勝候補と言われながら三日目森倉に敗れて優勝を逃しただけに雪辱を果たした形だ。

それにしても春日根部屋はこの伊勢の里はじめ幕下の玉乱、音柱、自力岳、三段目の紅の華など関取になれる逸材が目白押し。春日根部屋のこれからが楽しみだ。

序の口は全勝の住之江部屋の場が羅臼岳と対戦。このところ石神、石神井と有望な若手が出てきた住之江部屋だが、この場でも左差しも右攻めもできるバランスの良さで将来が有望な若手だ。(鹿賀乃戸)



場地○(寄り切り)●羅臼岳



伊勢里○(寄り切り)●森倉



勝錦●(寄り切り)○竜雲

恒例打ち上げも賑やかに

場所後、忘年会も兼ねての打ち上げが盛大に行われた。遠路北海道から駆け付け、場所の振り返り、来場所への抱負など、楽しい宴で皆、時を忘れて盃を交わしていた。(梅桜)



(梅桜)